

第28回地域密着型サービス運営委員会の議事概要

1. 開催日時 平成27年6月12日（金）14:00～15:45

2. 開催場所 神戸市医師会館 中会議室

3. 議 題

神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について 【審議】

「地域密着型サービスの自己評価及び外部評価（第三者評価）
の実施取扱要領」の改正について 【報告】

4. 委員出席状況

9名出席，3名欠席

5. 議事及び主な意見

（1）神戸市地域密着型サービス事業所の整備及び指定について【審議】

○地域密着型サービス事業者の整備・指定状況について、7月1日指定予定の3事業所の概要等を説明、また前回指摘のあった事業所について説明。

<説明（休廃止について）>

認知デイの休廃止が多いのは、併設している一般デイと統合するところがあるため。それぞれに人員を配置するよりも、一般デイに特化した方がよいとの考えが多い。一般デイでは、認知症加算が新たにでき、そちらをとる流れもできている。また、認知デイを利用できる方は、大抵軽度の認知症であるが、軽度の方は認知デイを嫌がる傾向にあるため利用者が伸び悩んでいることも一つである。

《P.4～》

・質問) GH めぐみの丘5について、基準は満たしているようだが、常勤が管理者のみというのは実際やっつけられるのか。

回答) 基準は満たしているため、それ以上のところは確認していない。

・質問) 食材料費がめぐみの丘とよしだ内科では倍以上の差があるが、なぜか。

回答) 外部から注文、GHの利用者たちに調理をしてもらい人件費がかからない、などそれぞれかかる費用が違っているのではないか。詳細は確認していない。

・質問) よしだ内科は朝食・夕食の時間帯が勤務人数少ないが、この点について指示はしないのか。

回答) 基準を満たしていれば、基本的にはしない。ただ、内部でもこの点について危惧していたため、今後こちらからよしだ内科へ指導させていただく。

・質問) ふれんど玉津について、遅出の次の日が早出というのはどうなのか。

回答) 問題ないと判断している。

・質問) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所一覧について、利用者は増えているのか。増えていないのであれば、増えるよう広報をしているのか。何か対策はたっているか。

回答) 若干ではあるが、増加傾向にあるが、まだ少ないのは事実。今後も、連絡会での共有、ケアマネージャーへの情報提供をし、需要を呼び起こす必要がある。

- ・質問) ターミナルケアについて、小規模でもしてほしいという希望が多いが、事業所もやり方がわからず知識もないため話がすすまない。神戸市としてどう考えているか。
- 回答) 今まで看取りをすることがなかった施設から、看取りの必要性がでてきていることは存じ上げている。看取りの問題については、もう一度チェックし直し、お話をさせていただきたい。
- ・質問) 休廃止というのは、事前に相談があるものなのか、急に届出がでてくるのか。利用者が少ないため休廃止というのは、もともとはじめからなのか。
- 回答) 事前相談があることもある。また新たな事業が導入されれば、とりあえずやってみるということがあり、それがうまくいくかはやってみなければわからない中で、事業者もやってみるというような状況。介護保険の利用者自体は当然増えているため、全体的な利用者数でいくと増えているはずである。

<その他意見>

- ・1事業者だけで、〈利用者の掘り起し・広報・充実したサービス提供〉をするのは難しい。ここに神戸市がどうサポートするかが大切。
- ・一般デイに特化する事業所が多いのであれば、GHの指定申請相談時に事前に情報提供しておけばよいのではないか。
- ・ニーズのあるなしと、利用者があるかないかは違う。事業所としては、人件費が膨らみ採算が合わない状態が続いており、赤字のところはほとんど。人件費を削るために、非常勤を増やすのがほとんど。それで常勤1名の基準を満たしているといっても、サービスの質には充実していないのではないか。なにか神戸市の指針みたいなものを作成するべきではないか。
- ・ターミナルについて、施設へのアンケート結果からもわかるように、やりたい・やらなければならないと思っている施設がほとんど。ただ、議論はされていても、マニュアルなどはなく知識がないためできない。マニュアルが出ていても正確には伝わっていないことも考えられる。

(2) 「地域密着型サービスの自己評価及び外部評価（第三者評価）の実施取扱要領」の改正について 【報告】

《P. 19～》

- ・質問) 自己評価というのは、公平性と適正の部分からどこをどう評価するのか、何か定められているのか。
- 回答) 国から、詳細な自己評価の様式がだされている。従前よりもかなり細かい項目になっているため、詳細な評価ができると思われる。
- ・質問) なぜ、小規模多機能がはずされたのか。
- 回答) 運営推進会議における評価と外部評価で重複する部分があり、効率化を図るためと思われる。また小規模多機能の事業者の全国連絡会が、全国の社会保障審議会の介護給付費分科会において、外部評価が現実的ではなく、運営推進会議において第三者評価すべきと意見したことが大きい。

<その他意見>

- ・サービス提供者が第三者評価のシステムに参画するというのはどうか。第三者が調査者として事業所に出向き、そこでサービス提供者が調査者と一緒になって主体的に自分たちの提供しているサービスを点検する。こういうコミュニケーションが大切なのではないか。そんな

れば、運営推進会議の責任が重くなり、行政の更なる参加が必要となってくる。

- 事業所を巡回して、何かランク付けみたいなものをつけてはどうか。それに関しては、行政がどう関われるかが重要になってくる。
- 市民の声を吸い上げることができる、神戸市独自の第三者評価の指針をだしていただきたい。必ず、市民の意見を吸い上げてほしい。それがあっての、地域包括ケアである。